

れい わ ねん ど きゅうけんせつ き かい せ こうかん り だ い に じ けん て い ひ つ き し けん もん だ い かい とう よう し  
 <令和8年度 1級建設機械施工管理第二次検定(筆記)試験問題>解答用紙【1/3】

(この欄は記入しないでください。)

じゅけん ち 受検地		じゅけんばんごう 受検番号									し め い 氏名	
---------------	--	------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	-------------	--

※この3枚の解答用紙すべてに解答してください。

	得 点
--	-----

【問題1】 施工管理法および建設機械施工法に関する次の(1)および(2)の問いに答えなさい。

(1) 道路土工の盛土材料に関する下記の記述の(A)～(E)に当てはまる語句を□の中  
 から選択し、記入しなさい。

盛土材料には、施工が容易で、盛土の安定性を保ち、かつ有害な変形が生じないような材  
 料を用いなければならない。

盛土に用いる材料としては、粒度のよい(A)や砂質土等の、敷ならし・締固めが容易  
 で、締固め後のせん断強度が高く、圧縮性が(B)、雨水等の侵食に強いとともに、吸水に  
 よる(C)が低いなどの条件を有する材料が望ましい。

盛土の施工では、環境保全の観点から建設発生土を有効利用することが望ましく、現場で発  
 生した材料の処理方法や用途について検討を行い、有効利用および適正処理に努める必要があ  
 る。例えば、(D)の高い砂質土や礫質土は排水材料として使用を図り、(E)や礫質土は排  
 水処理と安定性向上のため法尻への使用を図る。

岩塊，透水性，火山灰質粘性土，小さく，膨潤性，不透水性，礫質土，大きく

- (A) \_\_\_\_\_
- (B) \_\_\_\_\_
- (C) \_\_\_\_\_
- (D) \_\_\_\_\_
- (E) \_\_\_\_\_

(2) 建設機械施工における公衆災害防止対策に関する下記の記述の(A)～(E)に当てはまる  
 語句を□の中から選択し、記入しなさい。

① 施工者は、土木工事の施工に当たり、危険性の(A)であるリスクアセスメントを通じ  
 て、現場での各種作業における公衆災害の危険性を可能な限り特定し、当該リスクを低減す  
 るための措置を自主的に講じなければならない。

② 施工者は、道路上において土木工事のために杭、矢板等を打設する場合においては、埋設  
 物のないことがあらかじめ明確である場合を除き、埋設物の予想される位置を(B)程度まで  
 試掘を行い、埋設物の存在が確認されたときは、布掘りまたは(C)を行ってこれを露出  
 させなければならない。

③ 施工者は、埋設物に近接して掘削を行う場合には、周囲の(D)、沈下等に十分注意す  
 るとともに、必要に応じて埋設物の補強、移設、掘削後の埋戻方法等について、発注者お  
 よびその埋設物の管理者とあらかじめ協議し、埋設物の保安に必要な措置を講じなければな  
 らない。

④ 発注者および施工者は、土木工事の施工により公衆災害が発生した場合には、施工を中  
 止したうえで、直ちに(E)し、速やかに関係機関へ連絡するとともに、応急措置、二次災  
 害の防止措置を行わなければならない。

つば掘り，地盤の隆起，事後評価，総掘り，深さ1m，深さ2m，事前評価，  
 施工方法を変更，地盤のゆるみ，被害状況を把握

- (A) \_\_\_\_\_
- (B) \_\_\_\_\_
- (C) \_\_\_\_\_
- (D) \_\_\_\_\_
- (E) \_\_\_\_\_

令和8年度 1級建設機械施工管理第二次検定(筆記)試験問題 解答用紙【2/3】

(この欄は記入しないでください。)

受検地	受検番号	氏名
-----	------	----

※この3枚の解答用紙すべてに解答してください。

得点
----

【問題2】 以下に示すコンクリートの品質管理に関する(1)および(2)の問いに答えなさい。

鉄筋コンクリートで構築する橋梁下部工の工事において、受入れ検査で採取したコンクリートの圧縮強度試験を実施し、以下に示す30個の試験結果が得られた。なお、この構造物の設計基準強度は、24 N/mm<sup>2</sup>である。

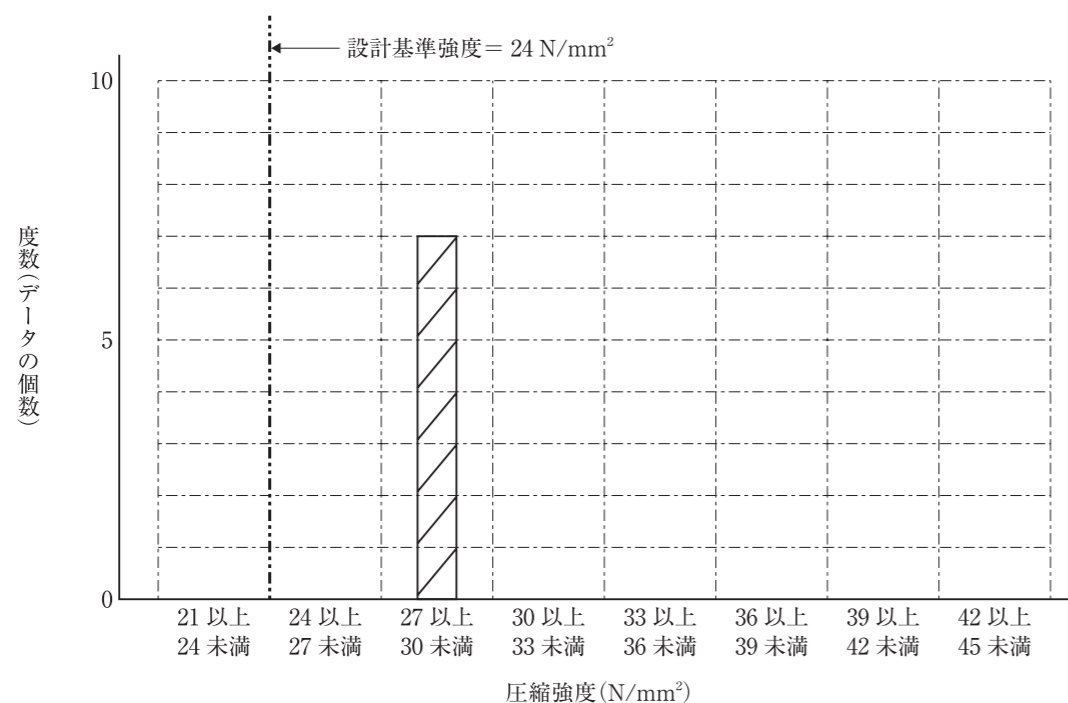
材齢28日におけるコンクリートの圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )														
32.0	31.0	23.0	35.0	37.0	28.0	35.0	43.0	26.0	27.0	37.0	31.0	29.0	34.0	34.0
27.0	34.0	36.0	28.0	26.0	29.0	32.0	26.0	33.0	32.0	44.0	29.0	32.0	31.0	30.0

(1) 上記の試験結果に基づき、①の度数分布表の空欄に適切な数字を入れ、②のヒストグラムを完成させなさい。

①度数分布表

圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	21以上 24未満	24以上 27未満	27以上 30未満	30以上 33未満	33以上 36未満	36以上 39未満	39以上 42未満	42以上 45未満
度数(データの個数)			7				0	

②ヒストグラム(注意: 度数は、「27以上 30未満」に示すような斜線による柱で記入すること)



(2) 得られた試験結果について、①問題点と考えられること、②その問題点が現れた原因として考えられること、③その問題点を改善するために必要と考えられる対策について、あなたの考えをそれぞれ1つずつ述べなさい。

あなたの考え	
①試験結果について問題点と考えられること	
②上記①の問題点が現れた原因として考えられること	
③上記①の問題点を改善するために必要と考えられる対策	

以下は、メモ等に使用してください。書いた内容を消す必要はありません。

(この欄は記入しないでください。)

受検地	受検番号	氏名
-----	------	----

※この3枚の解答用紙すべてに解答してください。

得点

【問題3】 下記の工事について、次の(1)~(3)の問いに答えなさい。

供用中の道路の片側1車線分について、アスファルト舗装部(表層および基層)を撤去した後の路盤の打換えを行う工事である。なお、打換え後の舗装の構成は、打換え前と変わらないものとする。

当該工事は、下記の施工条件による昼間作業とし、既存の上層および下層路盤の掘削・積込みをバックホウ、掘削した路盤材の搬出および新規の路盤材の搬入をダンプトラック、路盤材の敷ならしと整形をブルドーザおよびモータグレーダ、締固め作業を締固め機械(ローラ等)により行うものとする。

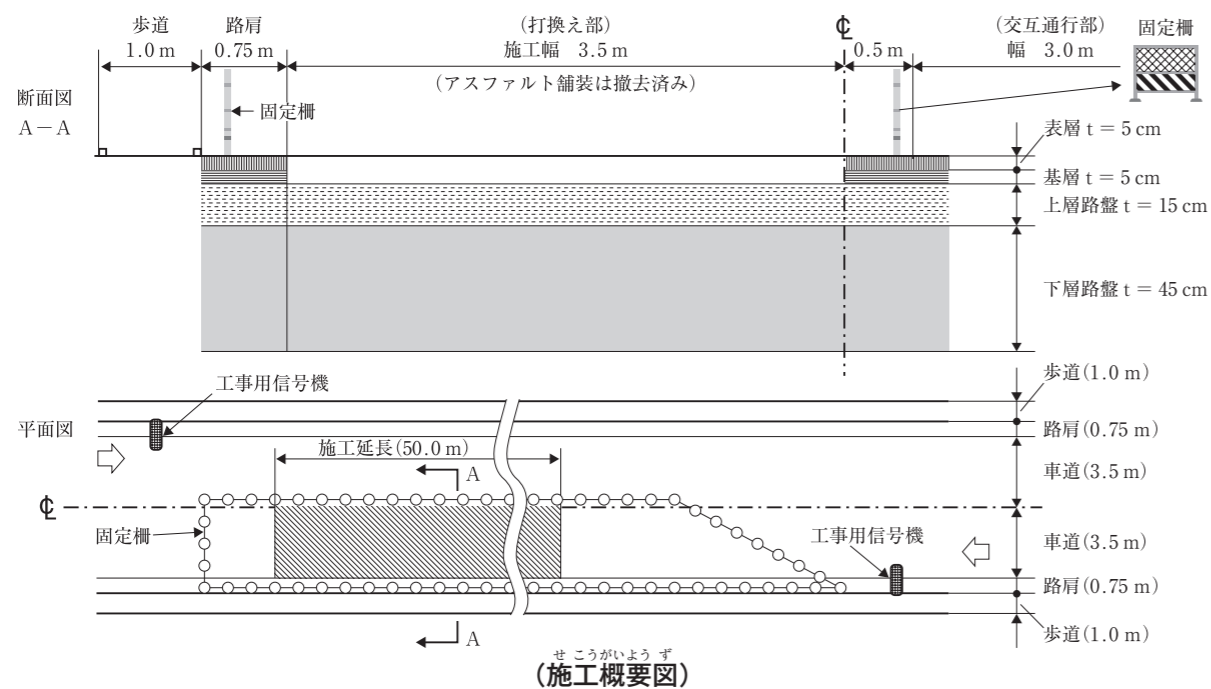
また、この工事のため、車道は片側1車線を交通規制し、反対側の車線を工事用信号機の切換えにより幅3.0mでの交互通行とし、歩道は固定柵を路肩部に設置することで常時通行可能とする。

(施工条件)打換え範囲：幅3.5m × 延長50.0m

幅員構成：片側1車線、片側車線幅員3.5m、路肩幅員0.75m、歩道幅員1.0m

路盤仕様：下層路盤 再生クラッシャーラン、仕上げり厚さ45cm

上層路盤 再生粒度調整砕石、仕上げり厚さ15cm



(1) 当該工事において、掘削積込み作業にオフセットブーム付バックホウを、締固め作業に振動ローラを選定する場合のそれぞれのメリットについて1つずつ記述しなさい。

建設機械	選定のメリット
① オフセットブーム付バックホウ	
② しんどう振動ローラ	

(2) 当該工事における路盤材の敷ならしから締固めまでの作業について、施工時の品質または出来形を確保するための留意点を2つ記述しなさい。ただし、締固め機械は問い(1)の振動ローラに限る必要はない。

	施工時の品質または出来形を確保するための留意点
①	
②	

(3) 当該工事において、使用する建設機械と作業場内の作業員との接触事故を防止するための留意点を2つ記述しなさい。

	建設機械と作業場内の作業員との接触事故を防止するための留意点
①	
②	

【問題4】 次の問いに答えなさい。

土砂の掘削・積込みと運搬作業において、掘削・積込みをバックホウ、運搬をダンプトラックによる組合せで行うとき、組み合わせた機械による作業能率を向上させるために、施工計画を策定するうえで必要な留意点を2つ記述しなさい。なお、当該作業は問題3の工事とは関係ないものとする。

	施工計画を策定するうえでの留意点
①	
②	